

私たちのCHALLENGE



自然環境と生活の

豊かさを両立するため、

常に探求心を忘れない。

高分子・複合材研究所モディファイヤーグループ
接着材料チーム
(2020年度入社)



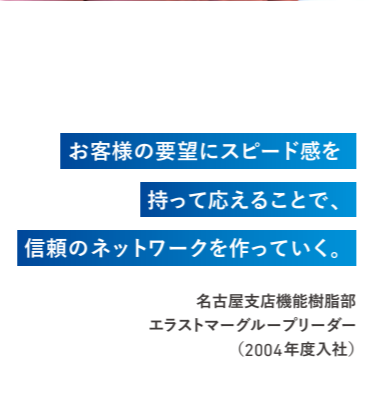
持続可能な調達を実現することが、

お客様に届ける価値の源泉になる。

ベーシック&グリーンマテリアلز事業本部
サステナブル・フィードストック事業部
(2018年度入社)

VISION 2030への挑戦

三井化学グループが目指すVISION 2030実現のカギとなるのは、一人ひとりの社員による、たゆまぬ挑戦の積み重ねです。これまでも、そしてこれからも、私たちは化学の力で社会を変革するべく、挑戦を続けていきます。



お客様の要望にスピード感を

持って応えることで、

信頼のネットワークを作っていく。

名古屋支店機能樹脂部
エラストマーグループリーダー
(2004年度入社)



従来の考え方の枠にとらわれず、

新規ビジネスに挑戦することで、

サステナブルな未来に貢献する。

ベーシック&グリーンマテリアلز事業本部
フェノール事業部
(2021年度入社)



グローバルに製品を提供することの

責任とやりがいを感じられる、

世界一のチームを目指す。

ICTソリューション事業本部
半導体・光学材料事業部
光学・包材グループベリカルチームリーダー
(2017年度入社)



事業の基盤となる安定した

生産と安全な操業を実現するため、

小さな変化も見逃さない。

製造2部エラストマー1課
1TF運転係
(2016年度入社)



「三井化学レポート2022」の発行にあたって

対話とフィードバックの サイクルによる、 持続的な企業価値向上

これまで歴史を通じて社会課題の解決に取り組んできた三井化学グループは、2021年に「長期経営計画 VISION 2030」を策定し、事業ポートフォリオ変革をはじめとする様々な戦略の推進を掲げました。三井化学レポート2022では、2021年度の業績や、過去の経営計画の振り返りに加え、今後新たな体制・方向性で進めていく事業戦略やサステナビリティ戦略、そしてそれらの基盤となる人材戦略やコーポレート・ガバナンスなどについて、現在経営戦略においても掲げている財務・非財務の統合という観点から深く掘り下げてご説明しています。本レポートが、当社グループの価値創造の道筋について、ステークホルダーの皆様のご理解の一助となることを願っています。

本レポートの編集・作成は、価値報告財団(VRF)の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省が提唱する「価値協創ガイダンス」を参照し、コーポレート・コミュニケーション部をはじめとするグループ横断的な各部門の協力のもと行っています。私はその作成プロセスおよび記載内容が正当であることを確認しました。

本レポートを活用したステークホルダーの皆様との対話の中で、ぜひ忌憚のないご意見をいただき、それを当社グループの戦略にフィードバックしていくことで、持続的な企業価値の向上に取り組んでいきたいと考えています。今後も引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員CEO

橋本 修